

第 57 回例会 (H28.7.13) 感想

「高齢者だけではない障がい福祉の流れを知ろう」

出席者 122 名 再参加 69 名・初参加 53 名

アンケート回答 80 枚 (回答率 66%) ありがとうございます。

今回の症例のような障害のために長年介護サービスが必要な事例があると知り、とても衝撃的でした。薬剤師としては、ほとんどが薬局で本人ではなく家族へお薬を渡していることが多いので、その先のどういった飲み方、管理方法なのかをもっと深く聞いて、薬剤師としてできることがもっとあるのではないかと思います。(薬剤師)

障がい福祉の事を初めて聞くことができた。(看護師)

障害児者の医療・福祉についてとても勉強になりました。市の概説を聞いて例を紹介して頂いて、良い構成だったと思います。(医師)

障害者とくに児の両親になにかあった際のバックアップ態勢がどうなるのか？市や郡によってどう違うのか気になる。(PT)

普段、障がい福祉に携わる機会がないので、今回講演、ディスカッションを通して初めて知った事がたくさんありました。やはり、いずれでも感じたのが社会資源の不足、人員の不足の問題が大きく、とても重大な問題だと感じました。家族・本人の不安が少しでも取り除けるよう、今後、充実させていくべきだと感じました。(PT)

社会資源の不足、7割が在宅でほとんど家族がみでおられる→家族の負担はどう。本人の気持ちはどうなのか？(介護福祉士)

普段の仕事の中で障がい児者と関わる事が少なく、実態を知らなかった。実際の支援の状況を知る事ができ良かったと思う。介護保険の枠組の中での事業で、時々、障がいの方からの相談もあるが、対応に困る事が多いのが実情。今後、もう少し障がいの制度等を勉強し、どの様な形で支援が可能かを考えたい。(福祉用具専門相談員)

障害児の実際のサービス(支援)状況を報告いただき勉強になりましたし、いろいろ考えさせられました。鳥大の Dr.のお話は今後の地域づくりを考える上でとても重要なお話だと思います。連携

をすすめるためには、まず、顔の見える関係を作り、繋がっていくことが大事だと思います。そうした意味でもケア研の存在意義は大きいと思います。(相談員)

想像していた以上に多職種、人数の参加があり、多方面からの障がい福祉分野の関心の高さを知り、嬉しく感じました。米子市民の約 1/15の方が障害者手帳を所持しておられる事に驚きました。地域包括ケアの中で、高齢者に比べ、まだまだ注目が低く援助体制が不十分な障がい児者の方々の地域生活が、今後さらにより良いものとなっていくよう、各職種間で連携が進むよう願っています。グループワークではデイでの受け入れ事業所の看護師配置がスタッフ内の“小児は少し怖い”という心理的な壁を低くする鍵になるのかなと感じました。(ST)

地域の支援の実情、支援者の思いが伝わる発表でした。障がい者を支える場、サービスの不足をどういった形で解消していくかが、今後の課題になると思った。(社会福祉士)

事業所側の苦勞や工夫を聞くことができ良かったです。重症児への支援は入院時からの介入が必要であると思います。しかしながら支援を必要としていない(介入されたくない)方もおられると思います。介入の際にはまず信頼関係を築いていくことが必要だと考えられます。(社会福祉士)

普段、児童との関わりが全くない職場なので、制度やサービス内容等含めて知らないことばかりでした。高齢者と比較して、計画書等でどの様な目標を立てているのか、重症例以外、特に就労支援に関わる事例を紹介して頂ければ良かったと思います。(PT)

障害福祉サービス利用までの流れ等、基本的な所を知る事ができて良かったです。実際に少しでも広く支援が行き届くように運用面でのシステムが構築できれば良いなと思います。色々、難しいですが、まずは、顔合わせて話すという事が(関係者は)第一歩なのかなあとと思います。(ST)

自身の専門とは違う疾患・障がいを持っている方の現状を知る良い機会となりました。医師は自身の専門で診療を行います。地域で看護・介護・相談等に当たっている方は、同時にあらゆる障害の方に関わっているのが現状だと思います。大学の専門スタッフの育成は本当は重要なことだと思います。(医師)

障害についても知識として学んでいく必要はあると思いました。でも人がすること、人との関わり、そこがあるから子どもから高齢者までできると思いました。(社会福祉士)

今まで高齢者分野に関わることが多かったので、本当に勉強になりました。もっと詳しく知りたかったです。(その他)

小児をとりあげる事例で良かった。知られている様で、具体的なサポート体制を受けて地域で生活されているか？ということがわかりました。将来的(学童期)な課題についても地教委なども積極的な対応をしなければならず、今回は学童期移行の事例もしてほしい。(保健師)

訪問看護ステーションで働いています。本人・家族の意思を尊重しながら、医療的エビデンスのあるものを提供しようとして、両極になることもあり、日々葛藤しながら働いています。介護・医療・障がいの分野で介護と医療のつながりは強くなってきた中で、障がいの分野のみが差別化されてしまっているように感じる。その差別化というか壁が少し減らせる会になったかと感じます。(PT)

高齢者支援の業務に携わっている中、障がい者支援という異なった福祉支援について、学ぶことが出来、大変、興味深く受講させていただきました。今後、知識の習得することで、利用者・家族様のニーズへ対応出来たらと思います。(?)

障がい福祉に対しての受け入れがまだまだ少ない現状を感じた。今後の課題解決に向けての市の連携が少々の事では難しく、それなりの対応策が必要に感じた。(介護福祉士)

今回、障害児者を取り上げていただき、この方々の実態を知っていただく良い機会だったと思います。支援の輪が広がっていくと良いと思います。(医師)

普段なかなか聞くことができない貴重なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。まだまだ、受け皿の少ない状態であり、困っている方もたくさんいらっしゃると思います。自分や自分の勤務する施設も少しでも役に立てるよう勉強し、働きかけていきたいと思いました。(ST)

障害者の状況の一端がよく分かって良かった。障害者が安心して地域で暮らせるようにするには保健・医療・介護・福祉のバックアップ体制を確立しながら、人材も育てていく必要があると思う。(医師)

障害者児との関わりが少ないため、現状を知る事ができ良かったです。(介護支援専門員)

障害児者に関わる事が少なく、今回は良い勉強になりました。障害者を取りまく社会資源が少ない事も初めて知りました。在宅で仕事をさせて頂いているので少しでもお手伝いが出来る様になればと思います。(看護師)

細やかなアセスメントと配慮が感じられる支援で素晴らしいと思いました。鳥取県では医療ケアの必要な乳幼児を支える仕組みが足りないと感じています。育ちを支援するという視点で県の保健師さんにもっと活躍してほしいです。(社会福祉士)

米子市の障害者の状況も知ることが出来て良かったです。実際のケアに直結する内容を今後もお願いしたいです。(看護師)

障がいの現状について学ぶことができました。様々な取り組みに前向きに参加できたらと思っています。(介護福祉士)

医療機関に勤務しているため、生活の見える、資料、パワーポイントで分かりやすかった。地域の関係者と今後も連携を深めていきたいです。(看護師)

障がい児の現状が少しわかりました。介護保険制度が始まる前には、寝たきり老人、認知症老人の現状がわからず、制度の改正とともに現在のサービス等が確立されてきたと思います。障がい児に対する制度、サービス等も今後改正を重ねて良いサービスを受けられる社会になればと思います。

た。(介護福祉士)

障がい者福祉の現状について少し勉強させて頂き、有意義でした。(歯科医師)

在宅医がない事に驚きました。グループでは職種の違いの方々の意見と現在の障がい福祉の実態が分かって良かったです。(介護支援専門員)

障がい支援についてゼロから学びたくて参加したので制度の説明や実体の説明があり良かったです。また事例がわかりやすく問題点を感じやすかったです。(介護支援専門員)

障がいのある方の実際の支援の状況などについて今まで知る機会がなかったので今日は貴重なお話をきくことができました。(その他)

ありがとうございました。障害者と高齢者福祉の違いについて勉強になりました。さらに調べてみたいと思います。ディスカッションでは家族の意向に世代の違いがあることや小児期か成人してから介護者が高齢となったときなど時期による違いも学びました。(PT)

あまりなじみの無い分野なので、とてもためになりました。65歳になっても障害サービスをそのまま使う方向で検討との情報を知れて良かったです。(介護支援専門員)

実際の患者さんへの支援と、家族、支援者の思いや課題が分かりとても興味深い内容でした。ただディスカッションがほぼ丸投げ状態であるのでもう少し検討していただきたいと思いました。(薬剤師)

障害福祉制度、サービス種類について勉強になりました。今後リハビリ専門職として少しでも関わりたいと思います。(PT)

障害の受け入れの状況や実際のサービスについてよくわかりました。実際にサービスを受け入れを行う際の参考にさせていただきたいと思いません。地域で障害児者の受け入れサービスが広がっていくことを期待したいと思います。(看護師)

少しずつ研修してお役に立てるよう準備いたしま

す。(医師)

障がい者の現状が把握できた。法人でどう障がい者を支援していくかを考えていきたい。(看護師)

初めてでしたが他職の方の話が伺えて良かったです。在宅の難しさ、誰がサービス考えるの？現状をしっかりと把握してしっかりと人を支えて欲しい。(介護福祉士)

高齢者と障がい者の分野は近いようで意外に違いが多く知らないことが多いと思いました。(社会福祉士)

障害児者が地域で安心して暮らせるためには十分な社会資源が必要だと思いますが、その前に関係者が一緒になって「支えていこう」という気持ちの一つにすることが大切だと感じました。(介護福祉士)

家の中で障がいのある方を抱え込んでおられる例がたくさんあるとお聞きし驚きました。8050問題というのもグループディスカッションで初めてお聞きし大変、参考になりました。障がい者の分野も課題多しですね。(介護支援専門員)

とても貴重なケース報告、大変勉強になりました。高齢者施設スタッフによる障がい児支援はまさに地域包括ケアの実際であると感じました。また、課題として、施設、SSサービスの充実が求められている実態を理解し、地域資源開発の重要性を感じました。(社会福祉士)

まず今まで介護保険メインのケア研だった為、障がい分野の内容をして下さった事が嬉しいです。介護保険メインの参加者の方が多いと思うので、障がい者の現在や障がい福祉の流れの基本的な所をやっていただけて良かったですと感じます。私自身も再度勉強することが出来ました。すてっぷの小林さんの事例についても同感する所や、今の社会資源の少なさを実感することが出来ました。グループディスカッションも色々な分野の方からお話が聞けて良かったです。(訪問介護員)

障害福祉サービスについて基本的なことから具体的な事例まで聞くことができとても勉強になりました。障害者福祉というと分かりにくくてどこに相談したらいいか分からないという声を

よく聞くのですが、少し分かったような気がしました。(介護支援専門員)

これまでの人生においても実習においても障がい者に関わる機会はあまりなかったので、今日の勉強会はとても参考になりました。薬剤師も障がい者の在宅に関わることは今後もっと増やすべきだと思いました。薬の管理や相談などをすることで家族のサポートもできると思います。(薬学実習生)

高齢者支援のテーマが多かったので、障害支援がテーマとなり嬉しく思います。共通の課題もありますが、やはり、それぞれの障害やその人に合った課題があるのではと思います。高齢者だけではなく、障害者だけではなく、支援できる力をつけていきたいと思います。(精神保健福祉士)

障がい者への介護について成人の方と小児の介護について現場の状況をわかりやすくお話を聞きました。大変分かりやすかったです。リハビリ職員の方々の苦勞についてもSGDで聞くことができました。教育システムとバックアップ体制の充実が課題だという結論となりました。(薬剤師)

普段は障害者を支援している方と接する機会が全くないので今回いろんな職業の方から現場のお話を聞いて施設が全く足りない事や短期入所にも最重度の方しか入れないなど初めて知ることがたくさんありました。大学の授業では学ぶことのできない事ばかりでした。(大学生)

グループワークで多職種の方とお話ができるのは本当にありがたいです。(相談支援専門員)

薬学生として出来る事を探したいと思った。(薬学生)

障害児者を取りまく環境の中で、薬剤師として何ができるか、何をしていないといけないか改めて考えさせられる研究会となった。障害を持つ人達を取りまくのは介護だけでなく医療が必ず必要となる。薬剤的な事だと精神・てんかん等の薬剤が乱重する中で薬剤師として適切な投与や過剰不必要な薬剤の削除を行えたら良いと思う。現状ではなかなか在宅に入りきれないため、今後、積極的に介入していく必要があると感じた。(薬剤師)

実際、小児の方に関わらせて頂いた経験がなく、今後進んでみたい方向ではあるので興味を持って聞くことができました。その方のやりたいことや楽しみなど引き出せるOTでありたい、になりたいと思います。ありがとうございました。(OT)

障がい福祉の分野は、まだ関わってから日が浅いですが、個人個人が毎日生き生きと暮らしてる姿にいつもパワーをもらっています。もっと笑顔が見れるように、支援体制を整えて今後も関わっていければと思いました。(PT)

保険の部分で移行していく時、今までできてたことが出来なくなることは本当に難しいことだと思う。どの分野でも信頼関係を作っていくことが改めて重要だと思った。(介護支援専門員)

障害児に関しての支援サービスの現状を知れて良かった。また、様々な職種の方と話ができて勉強になりました。ありがとうございました。(社会福祉士)

日頃、障害児の調剤は行うことはあっても薬局に親が伴って来ることはほとんどないため、実際の写真などで発表を見聞きし、とても良かったと思う。(薬剤師)

重症心身障がい者のグループホームへ訪問に伺っています。「児」の取り組みや課題を知る事ができ、「者」へ活かせると感じた。社会資源、人材の確保・拡充が重要だと再認識した。(ST)

障がい者を取り巻くサービスやサービスを受けておられない方の現状もあるということを改めて知ることが出来た。(PT)

障がい児の在宅について課題等整理する機会となりました。多職種での関わりを通して経験やケースを増やしていければと思います。そのための貴重な経験となりました。(PT)

具体的な事例の提示やグループワークの中で様々な情報を知ることが出来て良かったです。ありがとうございました。(保健師)

障害のある方の在宅について考える機会は今までになかったため、初めて知る現状がたくさんあ

りました。薬剤師という職種の立場でやれることは何だろうか。どう関わることを望まれているかなど知りたいと思いました。多職種の方と関わる良い機会でした。ありがとうございました。(薬剤師)

障害者の方の苦勞が少し分かり、自分の立場で何か役に立てればと思います。(薬剤師)

在宅生活と支援が具体的に分かりました。課題をよくわかりました。(医師)

障がい支援は年齢も障がいの程度も様々で、制度的にも複雑でプランを立てるのも難しいと思った。(介護支援専門員)

人的、時間的問題等がありますが、歯科医師会として御役に立てる事を模索して参りたいと考えます。(歯科医師)

障害者・障害児について現状、問題等を学びました。(看護師)

障害者(児)のケアを考えることをテーマでも興味深いテーマだなあと思って参加させていただきました。自分自身が福祉を目指すきっかけになったのが、障がいのある方々の看護の現場で受けた印象が大きかったから今があると初心を思い出したようです。福祉といった時、高齢者、障がい者(児)もなく、地域で生活していける体制を作っていないといけないと感じました。(介護支援専門員)

障害児者(特に精神・知的)に関わる機会が少なく、良い機会となった。介護保険分野でもマンパワー不足が社会資源不足があり、共通課題だと感じた。(OT)

①現状について - 数字だけ聞いてもピンとこないサービス種類を紹介されても調べればわかること。②流れ - テーマが流れだったので、全体的な現状の話を期待したがケーススタディでありピンポイントの様子しかみえない。西部全体のサービス現状。うまく言えませんが包括的な地域課題などが良いのでは? グループディスカッションの着地が見えない。(PT)

今日は貴重な意見を聞かせていただく場を提供いただき、ありがとうございました。学生の立場として普段は聞くことのできない意見をたくさん聞かせていただきました。今後もこのような場に学生を呼んで参加させていただければと思います。薬剤師という立場で多職種間で生かすことのできる知識がたくさんあると思いますのでよろしくをお願いします。(薬学生)

障がい者福祉の流れが少し分かってきました。もっと積極的に理解していこうと思いました。しかし、障がい者福祉も介護保険も課題は同じだと感じました。(歯科衛生士)

米子市の全体の障害者の話から事業所などのケースの話もあり、より具体的に考えることができた。グループワークで様々な職種の方と話をすることができ、制度への考え方や見方が変わっており、面白く思った。普段、ケースで話をする方々と、このようにディスカッションする時間を一緒に過ごすことができ、顔を合わせて関係作りにもなりました。貴重な機会をありがとうございました。(社会福祉士)

障がい福祉について、学校の勉強でもあまり触れることはないので大変勉強になりました。どうしても“在宅”というと高齢者のイメージが強かったのですが本日の例にあったように児でもあることであり、小児のうちから多職種が介入することで、より良いものが構築できるのではと考えさせられました。(実習生)

介護保険制度に比べると自立支援事業の内容に触れる機会は圧倒的に少ないので、事例を通したイメージと共に制度の大枠が理解できました。対象者が思った以上に少ない事実には驚きましたが、障害者の方が高齢者に比べると援助側のケア密度や負担が大きい感覚はあります。支援側が障害者対応をベースにしまうと財政的には破たんしてしまうかもしれません。(看護師)

障害福祉とは何か? が少し判ってはきたが、精神・身体・療育とまた細かくわかるので、これからは何回か同様な話を繰り返していけばもっと理解ができるかも。今のところは勉強になったがすごく難しい。次回も続けて、今度は精神も。(薬剤師)

ありがとうございました。今後いっそう障害のある方々の支援についてご理解とご協力をいただければありがたく思います。(相談支援専門員)